

令和4年度 秋田支部 事業実施状況について

令和4年度秋田支部KPI達成状況

分野	担当	KPI	R4目標	R4実績	達成度	R4 全国平均
基盤的 保険者 機能 関係	業務	サービススタンダードの達成状況	100%	100%	達成	99.99%
		現金給付等の申請に係る郵送化率	96.0%	92.0%	未達成	95.7%
	レセプト	社会保険診療報酬支払基金と合算したレセプト点検の査定率	前年度以上 (0.161%)	0.190%	達成	0.337%
		協会けんぽの再審査レセプト1件当たりの査定額	前年度以上 (5,348円)	5,508円	達成	7,125円
	業務	柔道整復施術療養費の申請に占める、施術箇所3部位以上、かつ月15日以上の施術申請の割合	前年度以下 (1.12%)	0.98%	達成	0.86%
	レセプト	日本年金機構回収分も含めた資格喪失後1か月以内の保険証回収率	前年度以上 (95.56%)	95.42%	未達成	86.27%
		返納金債権(資格喪失後受診に係るものに限る。)の回収率	前年度以上 (91.04%)	88.50%	未達成	54.35%
	業務	被扶養者資格の確認対象事業所からの確認書の提出率	96.0%	96.4%	達成	92.3%

令和4年度秋田支部KPI達成状況

分野	担当	KPI	R4目標	R4実績	達成度	R4 全国平均
戦略的保険者機能関係	保健	生活習慣病予防健診実施率	53.1%	55.2%	達成	56.4%
		事業者健診データ取得率	20.0%	20.9%	達成	8.8%
		被扶養者の特定健診実施率	35.7%	28.3%	未達成	27.7%
		被保険者の特定保健指導実施率	35.0%	32.6%	未達成	18.2%
		被扶養者の特定保健指導実施率	22.0%	17.2%	未達成	15.5%
		受診勧奨後3か月以内に医療機関を受診した者の割合	12.4%	9.8%	未達成	9.9%
	企画	健康経営宣言事業所数	1,470	1,587	達成	—
		全被保険者数に占める健康保険委員が委嘱されている事業所の被保険者数の割合	54.0%	56.6%	達成	50.8%
		ジェネリック医薬品使用割合	前年度以上 (82.5%)	83.8% (R5.2)	達成	81.8% (R5.2)
		効率的・効果的な医療提供体制の構築に向けて、地域医療構想調整会議や医療審議会等の場において、医療データ等を活用した効果的な意見発信を実施する。	実施する	実施	達成	—
体制関係	総務	一般競争入札に占める一者応札案件の割合	20%以下	0%	達成	14.3%

- 【KPI】 ①サービススタンダード*の達成状況
 ②現金給付等の申請に係る郵送化率

目標達成	①	目標	100%	実績	100%	(参考) 全国平均	99.99%	(参考) 令和3年度 秋田支部実績	100%
目標未達成	②		96.0%				92.0%		95.7%

【令和4年度の主な取組】

① サービススタンダードの達成状況

- 申請書の管理や進捗管理を徹底
- 新業務システム(令和5年1月導入)による、新たな業務フローを踏まえた事務処理体制等の整備

② 現金給付等の申請に係る郵送化率

- 各種広報による事業主や加入者への周知
- 退職後の任意継続利用者が多い事業所に、任意継続資格取得申請の郵送セットを配布
- 任意継続資格取得申請の郵送セットについて、社会保険労務士会等に配置の協力を依頼
- 限度額適用認定申請書、療養費支給申請書の郵送セットについて、医療機関等に配置の協力を依頼
 - 医療機関 54か所、治療用装具製作所 4か所

*サービススタンダード: 傷病手当金、出産手当金、出産育児一時金、埋葬料(費)の支給申請の受付から給付金の振込みまでの期間を10営業日以内とする。

【令和4年度の成果と反省点】

① サービススタンダードの達成状況

- 申請書の受付から支給までの標準期間(サービススタンダード:10日間)を遵守した。

➤ 平均所要日数 6.03日

② 現金給付等の申請に係る郵送化率

- 新様式の申請書郵送セットを作成し、医療機関、社会保険労務士会等へ配置の協力を依頼
配置先より追加の送付依頼が多くあった。

また、申請書記入時の留意点がわかりやすく、郵送による手続きを案内しやすい、とのご意見をいただいた。

- 全国平均よりも低い結果で、利便性の向上や負担の軽減を感じていただけるような取り組みが必要であった。

【令和5年度の施策】

① サービススタンダードの達成状況

【課題】

- 平均所要日数の維持と正確な事務処理の両立

【対策】

- 申請書の進捗管理の徹底
- 新業務システムによる、新たな業務フローを踏まえた事務処理体制の構築

② 現金給付等の申請に係る郵送化率

【課題】

- 郵送による手続きの利便性の周知

【対策】

- 事業主や加入者への各種広報の実施
- 加入者の利便性向上のため、全ての申請手続きが郵送で完結できるよう、電話対応のスキルアップを図る。
- 申請書郵送セットの配置協力依頼(医療機関、事業所、社会保険労務士等)

【KPI】 ①社会保険診療報酬支払基金と合算したレセプト点検の査定率*
 ②協会けんぽの再審査レセプト1件当たりの査定額

目標達成	①	目標	前年度以上(0.161%)	実績	0.190%	(参考) 全国平均	0.337%	(参考) 令和3年度 秋田支部実績	0.161%
目標達成	②		前年度以上(5,348円)		5,508円		7,125円		5,348円

【令和4年度の主な取組】

KPI①・②共通

- 点検員のスキルアップ
 - 勉強会及び点検員の面談指導(毎月)
 - 外部講師によるスキルアップ研修(9月、3月)
 - 他支部査定事例を活用した勉強会
- システム点検の精度向上
 - 査定結果の検討会を実施し、システム点検マスタをメンテナンス(毎月)
- 支払基金との連携
 - 協議会を開催し、疑問点の確認や支部間差異の解消を図る(毎月)
- 進捗管理の徹底
 - 状況報告と実績向上に向けた対策を検討(毎月)

*査定率=レセプト点検により査定(減額)した額÷協会けんぽの医療費総額

【令和4年度の成果と反省点】

① 社会保険診療報酬支払基金と合算したレセプト点検の査定率

- 他支部査定事例の活用は、支部間差異解消に有効な取組であった。
- KPIの数値は支払基金実績との合算であるが、支払基金単独の査定率が他支部と比べ低く、改善が難しかった。

② 協会けんぽの再審査レセプト1件当たりの査定額

- 手術など高額レセプトの研修を実施したことや他支部査定事例を共有したことが、点検員のスキルアップ、成果に繋がった。

【令和5年度の施策】

【課題】KPI①・②共通

- 点検員のスキルアップ
- 支部間差異の解消

【対策】

- 他支部査定事例、高額査定事例を活用し、点検員全体のスキルアップを図る。
- 勉強会や研修会を通して、定期的に新しい情報を習得する。
- 支部間差異と思われる事例は積極的に支払基金と協議を行い、支払基金の審査基準の差異解消を求めながら、両者の審査精度の向上を図る。

【KPI】 柔道整復施術療養費の申請に占める、施術箇所3部位以上、かつ月15日以上 of 施術申請の割合

目標達成	①	目標	前年度以下(1.12%)	実績	0.98%	(参考) 全国平均	0.86%	(参考) 令和3年度 秋田支部実績	1.12%
------	---	----	--------------	----	-------	--------------	-------	-------------------------	-------

【令和4年度の主な取組】

- 多部位かつ頻回施術にかかる申請について、患者照会を実施
 - 令和4年度 2,653件
- 多部位かつ頻回施術の申請が多い施術所について、審査会へ情報提供を行い、重点審査を実施
- 柔道整復施術の受診の仕方や制度の仕組みを各種広報により周知

【令和4年度の成果と反省点】

- 申請傾向を分析した患者照会や施術録等の適宜確認により、医療費の適正化を図ることができた。
- 重点審査後の申請について調査し、適正な申請内容への改善が確認できた。

【令和5年度の施策】

【課題】

- 適正受診に繋がる患者照会等の実施

【対策】

- 多部位かつ頻回施術や部位転がしの疑いのある申請について、患者照会を実施
- 多部位かつ頻回施術や部位転がし等の過剰受診の傾向がある施術所について、審査会へ情報提供を行い、重点審査を実施
- 柔道整復施術の受診の仕方や制度の仕組みを各種広報により周知

【KPI】 ①日本年金機構回収分も含めた資格喪失後1か月以内の保険証回収率
 ②返納金債権（資格喪失後受診に係るものに限る。）の回収率

目標未達成	①	目 標	前年度以上(95.56%)	実 績	95.42%	(参考) 全国平均	86.27%	(参考) 令和3年度 秋田支部実績	95.56%
目標未達成	②		前年度以上(91.04%)				88.50%		54.35%

【令和4年度の主な取組】

① 日本年金機構回収分も含めた資格喪失後1か月以内の保険証回収率

- 文書催告と電話催告の確実な実施
 - 文書催告は資格喪失処理から一定期間内に2回実施
 - 電話催告は本人と事業所双方に実施
- 保険証未回収事業所データを活用した回収依頼文書送付
 - 令和4年9月 538事業所に送付
 - 令和5年3月 66事業所に送付
- 未添付者が多い事業所には電話で回収協力依頼

② 返納金債権(資格喪失後受診に係るものに限る)の回収率

- 高額債務者には電話等で優先的に接触するようにした。
- 未納者、分割納付者の管理の徹底と納期限を過ぎた場合の早期催告を励行した。
- 保険者間調整の積極的な案内を実施した。

【令和4年度の成果と反省点】

① 日本年金機構回収分も含めた資格喪失後1か月以内の保険証回収率

- 保険証回収率は目標達成(前年度以上)には至らなかったが、95.42%は全国1位(全国平均86.27%)の実績であり、高い水準を維持した。
- 未回収データを活用した事業所への文書依頼、未添付者が多い事業所への早期依頼が効果的であった。
- 業務フローに沿った文書催告と電話催告を確実に実施した。

② 返納金債権(資格喪失後受診に係るものに限る。)の回収率

- 返納金債権回収率は、目標達成(前年度以上)には至らなかったが、88.50%は全国1位(全国平均54.35%)の実績であり、高い水準を維持した。
- 保険者間調整により、140件 16,838千円回収した。
- 債務者への早期接触(電話催告)とスケジュール管理が課題である。

【令和5年度の施策】

① 日本年金機構回収分も含めた資格喪失後1か月以内の保険証回収率

- 文書催告、電話催告の確実な実施
- 保険証未回収事業所データを活用した回収依頼文書送付
- 広報誌やメルマガでの周知

② 返納金債権(資格喪失後受診に係るものに限る。)の回収率

- 電話、文書、訪問、弁護士催告等ステップを踏んだ早期アプローチの実施
- システムを活用したスケジュール管理の徹底

【KPI】被扶養者資格の確認対象事業所からの確認書の提出率

目標達成	①	目標	96.0%	実績	96.4%	(参考) 全国平均	92.3%	(参考) 令和3年度 秋田支部実績	96.7%
------	---	----	-------	----	-------	--------------	-------	-------------------------	-------

【令和4年度の主な取組】

- 本部による一次勧奨(文書)後に支部から二次勧奨(電話)、三次勧奨(文書)を実施
 - 二次勧奨(電話) 721事業所
 - 三次勧奨(文書) 152事業所

【令和4年度の成果と反省点】

- 支部による電話勧奨、文書勧奨を確実に実施し、全国1位の実績であった。
- 未提出事業所が固定化しており、提出を促す対策が必要であった。

【令和5年度の施策】

【課題】

- 未提出事業所への対応

【対策】

- 未送達事業所の所在地調査による再送達の徹底
- 本部による文書勧奨後、支部から電話勧奨及び文書勧奨を実施
- 経年で未提出となっている事業所について傾向分析等を行い、提出勧奨を実施

- 【KPI】 ①生活習慣病予防健診実施率
 ②事業者健診データ取得率
 ③被扶養者の特定健診実施率

目標達成	①	目標	53.1%	実績	(参考) 全国平均	55.2%	(参考) 令和3年度 秋田支部実績	56.4%	51.6%
目標達成	②		20.0%			20.9%		8.8%	20.5%
目標未達成	③		35.7%			28.3%		27.7%	27.1%

【令和4年度の主な取組】

① 生活習慣病予防健診実施率

- 協会主催の集合健診を利便性の高い商業施設等で実施
 - 秋田テルサ(秋田市)、カダーレ(由利本荘市)、大曲交流センター(大仙市)、秋田ふるさと村(横手市)、湯沢文化会館(湯沢市)
- 新規委託契約先の開拓

② 事業者健診データ取得率

- 労働局、県産業労働部、県健康福祉部、協会けんぽの四者連名文書による事業者健診結果データ取得勧奨
- 支部職員による事業所への事業者健診結果データ取得勧奨
- 外部委託業者の活用による事業所への文書・電話勧奨およびデータ入力の実施
- 継続的で確実な健診結果データの受領

③ 被扶養者の特定健診実施率

- 協会主催の集合健診を利便性の高い商業施設等で実施
 - 秋田テルサ(秋田市)、秋田まるごと市場(秋田市)、カダーレ(由利本荘市)、バーリーズクラブ(大館市)、大曲交流センター(大仙市、4年度追加)、秋田ふるさと村(横手市)
- オリジナルキャラクター「けんしんくん」を使用したバスラッピング広告による受診啓発
- 大仙市と共同で特定健診・がん検診同時実施を案内
- 次年度特定健診対象者(40歳になる方)への乳がん自己検診媒体を同封した受診勧奨の実施

【令和4年度の成果と反省点】

- 協会主催の集合健診の実績
 - 被保険者:40日間 1,390人
 - 被扶養者:10日間 1,520人
- 生活習慣病予防健診実施機関3か所と新規契約し、健診実施枠が295名分増加した。
- 事業者健診データ取得の実績
 - 令和3年度に比べ1,288件増加

【令和5年度の施策】

① 生活習慣病予防健診実施率

【課題】

- 受診機会の確保と受診環境の整備(受入れ可能な健診実施機関の慢性的不足、健診受入れ枠の減少)

【対策】

- 自己負担額の軽減(7,169円→5,282円)
- 協会主催の検診車による集合健診を県内各地で開催
- 施設健診が可能な健診機関の開拓

② 事業者健診データ取得率

【課題】

- 未受領事業所からの取得

【対策】

- 健診後速やかに健診機関からデータを受領できる体制を構築
- 一定規模以上の事業所へ四者連名による文書勧奨を実施する。
- データ作成可能な健診機関等の新規開拓

③ 被扶養者の特定健診実施率

【課題】

- 秋田市で実施している集合健診の対象は国保加入者のみであり、協会けんぽの加入者は受診できない。
- 県全体の受診率が低い。

【対策】

- 協会主催の集合健診を秋田市・大館市等の重点地域で開催する。
- 支部広報を強化し、訴求力のある健診受診勧奨を行う。

【KPI】 ①被保険者の特定保健指導実施率
 ②被扶養者の特定保健指導実施率

目標未達成	①	目標	35.0%	実績	32.6%	(参考) 全国平均	18.2%	(参考) 令和3年度 秋田支部実績	36.8%
目標未達成	②		22.0%				17.2%		15.5%

【令和4年度の主な取組】

① 被保険者の特定保健指導実施率

- ICTを活用した遠隔保健指導(WEB面談)を積極的に実施
- 初回面談後の即中断を減らすため、保健指導利用者にアンケートを実施
- 薬局やクリニックへ誘導する広報ポスターの作製
- 特定保健指導実施機関の新規開拓
- 外部委託先の進捗管理と情報交換

② 被扶養者の特定保健指導実施率

- 協会けんぽ主催の集合健診と同会場での特定保健指導の同時実施
 - 秋田テルサ(秋田市)、秋田まるごと市場(秋田市)、バーリーズクラブ(大館市)、大曲交流センター(大仙市)、秋田ふるさと村(横手市)
- 専門業者や健診実施機関以外の薬局等に委託先を拡大する。
- ナッジ理論を取り入れた勧奨リーフレットを作成し、特定保健指導未利用者へ送付

【令和4年度の成果と反省点】

- ICTを活用した遠隔保健指導（WEB面談）の実績
 - 自営 290人（全体の4.9%） 外部委託190人（全体の3.2%）
- 保健指導利用者へのアンケートに関しては良好な評価であった。
- 特定保健指導外部委託の実績
 - 初回面談数 1,121人
 - 実績評価数 846人

うち令和4年度新規契約機関の実績
➢ 新規契約機関 11機関
➢ 初回面談数 189人
➢ 実績評価数 27人
- 協会けんぽ主催の集合健診と同会場での特定保健指導の同時実施
 - 13日間、143人
- 自営の保健指導者の欠員により件数が伸びなかった。
- 薬局やクリニックなど利便性が高く、利用しやすい新規実施機関の周知が不十分だった。

【令和5年度の施策】

【課題】

- 外部委託先の実施件数が伸びない

【対策】

- 健診当日に初回面談を実施できる健診機関の開拓
- 薬局やクリニックへ誘導する対策（広報ポスター作製等）
- ICT専門機関によるWEB面談の活用促進
- 外部委託先の進捗管理と情報交換

【KPI】 受診勧奨後3か月以内に医療機関を受診した者の割合

目標未達成	①	目 標	12.4%	実 績	9.8%	(参考) 全国平均	9.9%	(参考) 令和3年度 秋田支部実績	8.9%
-------	---	-----	-------	-----	------	--------------	------	-------------------------	------

【令和4年度の主な取組】

- 健診当日、血圧が要治療域以上の方に、健診実施機関(36か所)から受診勧奨及びリーフレットを配布
- 委託業者から文書・電話での受診勧奨
- 各種広報による受診を促す効果的な情報提供
- 対象項目にLDLコレステロール180mg/dl以上を追加

【令和4年度の成果と反省点】

- 上記の様々な取組を実施したが、新型コロナウイルス感染症による受診控え、経年で対象となる方の未受診など効果がなかなか見えてこなかった。

《参考》	収縮期血圧	拡張期血圧	空腹時血糖	HbA1c	LDLコレステロール	eGFR (秋田支部独自事業)
要治療域	160mmHg以上	100mmHg以上	126mg/dl以上	6.5%以上(NGSP値)	180mg/dl以上	60ml/分1.73㎡未満
重症域	180mmHg以上	110mmHg以上	160mg/dl以上	8.4%以上(NGSP値)		

【令和5年度の施策】

【課題】

- 対象者の受診率が伸びない。

【対策】

- R5年度生活習慣病予防健診の案内に受診勧奨チラシを同封
- 健診時、血圧が要治療域以上の方に受診勧奨及び高血圧予防のリーフレットを配布
- 委託業者による対象者全員への文書・電話勧奨
- 保健指導時に「要精密検査」、「要治療」の方へ受診勧奨



【KPI】健康経営宣言事業所数

目標達成	①	目標	1,470	実績	1,587	(参考) 全国平均	—	(参考) 令和3年度 秋田支部実績	1,461
------	---	----	-------	----	-------	--------------	---	-------------------------	-------

【令和4年度の主な取組み】

健康経営宣言事業所の拡大

- 協定締結先の秋田県トラック協会と共同で、会員事業所への文書勧奨や広報誌の配付を実施した。
- アクサ生命や三井住友海上火災保険と共同で健康経営セミナーを開催した。

健康経営宣言後のフォローアップ

- 減塩をテーマにした啓発ポスターの作成・配布
- 「四季のけんこう」(広報誌)の送付
- 宣言後アンケート等によるフォローアップ(アンケートの回答内容から必要に応じ電話等で再フォロー)
- 健康経営宣言事業所の標準化※を図るため、宣言年度ごとに訪問や文書による勧奨を実施。
宣言内容の標準化を図るだけでなく、現在の取組状況の振り返りを行っていただき、宣言内容の見直しを促した。

*健康経営宣言事業所の標準化: 宣言いただく際の項目について、以下の3点を全支部共通で取組む項目として宣言内容に盛り込んでいただくもの。

- ①できる限り重点的かつ定量的な(数値を含んだ)宣言項目とする。
- ②「健診の受診率」及び「保健指導の実施率」を宣言項目とすることを必須とする。
- ③「身体活動・運動」、「食生活・栄養」、「こころの健康づくり・休養」、「たばこ」、「アルコール」等の分野の取組みであって、当該事業所の現状を踏まえ、達成できるという満足感を得られながら、継続的に実践が可能な現実的な項目を1つは選定する。

【令和4年度の成果と反省点】

- 令和4年度は1,584事業所中694事業所(43.8%)が標準化に移行した。

【令和5年度の施策】

【課題】

- 健康経営宣言のプロセス及びコンテンツの標準化
- 健康経営宣言後の取組継続に繋がるフォローアップ体制の構築

【対策】

- 宣言事業所向けの運動セミナー事業を実施
- 従業員に対する健康づくりや健康意識の啓発のために、経営層向けのセミナーを開催
- 標準化が図られていない事業所への移行勧奨

【KPI】 全被保険者数に占める健康保険委員が委嘱されている事業所の被保険者数の割合

目標達成	①	目標	54.0%	実績	56.6%	(参考) 全国平均	50.8%	(参考) 令和3年度 秋田支部実績	54.8%
------	---	----	-------	----	-------	--------------	-------	-------------------------	-------

【令和4年度の主な取組】

紙媒体による広報

媒体名	対象	部数	回数
健康保険あきた	適用事業所	約1.6万部	12回(毎月)
まめだすか	健康保険委員	約2千部	4回(4半期に1回)
健康保険はやわかりガイド	年金事務所利用者	約2千部	1回
フリーペーパー等の情報紙	加入者	約4万～19万部	4紙各1回

WEB媒体による広報

媒体名	対象	アクセス数(視聴回数)	備考
支部ホームページ	加入者	約1.5万アクセス/月	
けんぽクエスト	加入者	約4.7万件	
まメールだすか	メールマガジン登録者	約2千配信	12回(毎月)
健康づくり動画	メールマガジン登録者	約10,000回再生(12動画)	9月～2月(6回)

健康保険委員の委嘱拡大

- 新規適用事業所67事業所へ文書勧奨

【令和4年度の成果と反省点】

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、学校での健康教育は行うことができなかった。
- けんぽクエストでは、アクセス数が約4.7万件となり当初計画の1.5倍のアクセス数となった。
- 健康づくり動画では、総再生回数が10,000回を超え、前年度と比べ再生数が約5倍となるなど加入者の関心を引く広報が実施できた。

【令和5年度の施策】

紙媒体・WEB媒体による広報

【課題】

- タイムリーな情報発信の継続

【取組】

- 紙媒体とWEB媒体による広報を組み合わせながら、加入者の関心を高める情報発信を継続する。
- 協会けんぽの事業について、研修会や説明会の場で広報し理解度向上を図る。

健康保険委員の委嘱拡大

【取組】

- 健康経営宣言時に健康保険委員の推薦を同時に行う。
- 一定規模以上や地域に影響力のある事業所へトップセールスを実施する。

【KPI】ジェネリック医薬品使用割合

目標達成	①	目標	前年度以上(82.5%)	実績	83.8%(R5.2)	(参考) 全国平均	81.8%(R5.2)	(参考) 令和3年度 秋田支部実績	82.5%
------	---	----	--------------	----	-------------	--------------	-------------	-------------------------	-------

【令和4年度の主な取組】

薬局へのアプローチ

- 秋田県、東北厚生局と連携し、秋田県薬剤師会への働きかけを継続した。
- ジェネリック医薬品使用実績がある県内の調剤薬局(500件)に、薬局ごとのジェネリック医薬品使用割合を示した資料と医薬品実績リストを送付
- 支部ホームページに医薬品実績リストを掲載

加入者へのアプローチ

- 上手な医療のかかり方及びインセンティブ制度に係る啓発チラシとお薬手帳ホルダーを作製
- 本部調達のジェネリックQ&A冊子と併せて新規の健康経営宣言事業所や希望する宣言事業所に配付
- 123事業所 3,448枚配布

【令和4年度の成果と反省点】

- ジェネリック医薬品の供給不足が続いている状況下で、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、医療機関や調剤薬局への訪問等、積極的に行動することができなかった。
- 厳しい状況下であるが、薬局ごとのジェネリック医薬品使用割合を示した資料による情報提供や、加入者に対する広報活動については着実に実施できた。

【令和5年度の施策】

【課題】

- ジェネリック医薬品の使用割合について、全国平均に比べ高い水準で推移しているが、子供世代（15歳未満）の使用割合が低い傾向にあるため、更なる使用促進の取り組みが必要となっている。

【対策】

- 秋田県医師会及び薬剤師会と連携したうえでの医療機関・調剤薬局への情報提供
- 加入者に対するジェネリック医薬品軽減額通知や広報の継続実施
- ジオターゲティング広告を活用した啓発活動

【KPI】 効率的・効果的な医療提供体制の構築に向けて、地域医療構想調整会議^{*}や医療審議会等の場において、医療データ等を活用した効果的な意見発信を実施する

目標達成	①	目標	実施する	実績	実施	(参考) 全国平均	—	(参考) 令和3年度 秋田支部実績	実施
------	---	----	------	----	----	--------------	---	-------------------------	----

【令和4年度の主な取組み】

医療提供体制に係る意見発信

- 二次医療圏・傷病・診療行為別の医科レセプトデータを用い、地域医療構想調整会議等で各医療圏ごとの患者流出入状況について説明を行った。

【令和4年度の成果と反省点】

- 委員として参加している7医療圏^{*}すべてで、意見発信を行った。

【令和5年度の施策】

- 引き続き各種会議の場において、医療データを活用した効果的な意見発信ができるよう、データの分析を進める。

^{*}地域医療構想調整会議：医療関係者、保険者、その他の関係者との連携を図り、将来の病床の必要量を達成や地域医療構想を推進するために必要な事項を協議する場

^{*}7医療圏：秋田周辺構想区域、大館・鹿角構想区域、北秋田構想区域、能代・山本構想区域、大仙・仙北構想区域、横手構想区域、湯沢・雄勝構想区域

【KPI】 一般競争入札に占める一者応札案件の割合

目標達成	①	目標	20%以下	実績	0%	(参考) 全国平均	14.3%	(参考) 令和3年度 秋田支部実績	0%
------	---	----	-------	----	----	--------------	-------	-------------------------	----

【令和4年度の主な取組み】

- 業者への声掛けの徹底
- 公告期間や納期までの期間の十分な確保
- 複数者からの見積書取り付けの徹底

【令和4年度の成果と反省点】

- すべての入札案件において複数者から応札があった。

【令和5年度の施策】

- 一者応札の削減に向けて令和4年度同様の取組を継続し、適切な調達を進める。